

2021.4 – 2021.9
コースフロー／コースカリキュラム

ITサービススマネジメント

情報システムを活用し、
ビジネスを支援するITサービスの業務プロセスを
管理・改善するITサービススマネジメントの基礎知識・手法が修得できます。

<https://www.hitachi-ac.co.jp/>

日立アカデミーWebサイト

※本ガイドは2020年12月時点の内容で記載しています。最新の情報については、当社Webサイトでご確認ください。

※一部のコースは、オンライン配信での提供へ変更する場合があります。また同時に、集合研修は中止となる場合があります。

※オンライン研修または集合研修の開催時間については、当社Webサイトでご確認ください。

ITサービスマネジメント

情報システムを活用し、ビジネスを支援するITサービスの業務プロセスを管理・改善するITサービスマネジメントの基礎知識・手法が修得できます。

● システム運用管理に関する基礎知識を身につけたい方

ITE701 eラーニング		ITV008 ブループ演習	
【ナビ機能付き】運用管理概説		情報システム運用入門 -運用からITサービスへ-	
6時間	オンライン	1日間	
初心者にオススメ			

● ITIL®に関する知識を修得したい方

PDU		PDU	
ITV014	レクチャ	ITV013	レクチャ
ITIL®ファンデーション (ITIL®2011対応) (受験パウチャーチケット付き)	オンライン	ITIL®4ファンデーション (受験パウチャーチケット付き)	オンライン
3日間	3日間		

● システム開発・運用を担当する方

ITE006 eラーニング		ITV009 ブループ演習	
SLAにおけるサービスレベル設計の基礎		IT運用におけるヒューマンエラー予防	
4時間	オンライン	1日間	オンライン

HSV062 ブループ演習		HSV018 ブループ演習	
事例から学ぶシステムトラブル対策の考え方 -高信頼性システム実現のために-		システムトラブルの予防と是正 -ISMS・システム監査の視点から-	
オンライン	1日間	オンライン	2日間

ITV004 ブループ演習		CDV001 ブループ演習	
システム運用の現状分析・設計力養成ワークショップ		事業と技術の観点から検討するクラウドへの移行と管理 - Cloud Essentials -	
オンライン	2日間	オンライン	2日間

音声なし・説明文有り : 説明画面と説明文（音声あり）で学習するタイプのeラーニングです。（説明文を音声で聞くことも可能です）

音声有り・説明文なし : 収録した講義画面と講師の音声で、集合研修に参加しているような臨場感ある受講ができるタイプのeラーニングです。（音声再生環境が必須です）

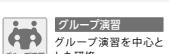
音声なし・説明文有り : 説明画面と説明文（音声なし）で学習するタイプのeラーニングです。（音声再生環境は不要です）

初心者にオススメ : コンピュータ未経験の方が前提知識なく学習できる当該分野の最初のコースです。

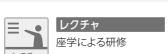
PDU : PMP®資格更新に必要なポイント(PDU)を取得できます。



マシン実習
マシンを使用しながらの研修



グループ演習
グループ演習を中心とした研修



レクチャ
座学による研修



eラーニング
インターネット接続による自己学習



その他



休講
今期の定期開催はありません

● JP1を使用してシステムを運用管理する方

JPV277	マシン実習
JP1操作入門	
オンライン	1日間

または

JPJ277	マシン実習
JP1操作入門	
集合	1日間

JPV278	レクチャ
JP1エンジニアー機能概説	
オンライン	1日間

JPV279	マシン実習
JP1プロフェッショナル 統合管理1-システム監視-	
オンライン	2日間

または

JPJ279	マシン実習
JP1プロフェッショナル 統合管理1-システム監視-	
集合	2日間

JPV280	マシン実習
JP1プロフェッショナル 統合管理2-システム設定-	
オンライン	2日間

JPV281	マシン実習
JP1プロフェッショナル 統合管理セットコース	
オンライン	4日間

JPV304	マシン実習
JP1プロフェッショナル 統合管理3 -インテリジェント統合管理基盤-	
オンライン	1日間

JPV282	マシン実習
JP1プロフェッショナル パフォーマンス管理	
オンライン	2日間

または

JPJ282/JPJ282T	マシン実習
JP1プロフェッショナル パフォーマンス管理	
集合	2日間

JPV283	マシン実習
JP1プロフェッショナル ジョブ管理 1 -ジョブ定義・監視-	
オンライン	2日間

JPV284	マシン実習
JP1プロフェッショナル ジョブ管理 2 -システム設定・運用管理-	
オンライン	2日間

JPV285	マシン実習
JP1プロフェッショナル ジョブ管理セットコース	
オンライン	4日間

JPV303	マシン実習
JP1プロフェッショナル ジョブ管理 -クライアント業務自動化-	
オンライン	1日間

JPV102	マシン実習
JP1/AJS3エキスパート 育成講座-開発編-	
オンライン	1日間

JPV103	マシン実習
JP1/AJS3エキスパート 育成講座-運用編-	
オンライン	1日間

音声有り・説明文有り : 説明画面と説明文(音声あり)で学習するタイプのeラーニングです。(説明文を音声で聞くことも可能です)
音声有り・説明文なし : 収録した講義画面と講師の音声で、集合研修に参加しているような臨場感ある受講ができるタイプのeラーニングです。(音声再生環境が必須です)
音声なし・説明文有り : 説明画面と説明文(音声なし)で学習するタイプのeラーニングです。(音声再生環境は不要です)

初心者にオススメ : コンピュータ未経験の方が前提知識なく学習できる当該分野の最初のコースです。



マシン実習
マシンを使用しながらの研修



グループ演習
グループ演習を中心とした研修



レクチャ
座学による研修
レクチャ



eラーニング
インターネット接続による自己学習
eラーニング



その他



休講
休講
今期の定期開催はありません

JPV288 マシン実習 JP1プロフェッショナル ネットワーク管理1 – ネットワーク管理基盤 – オンライン 2日間	JPV289 マシン実習 JP1プロフェッショナル ネットワーク管理2 – システムリソース管理 – オンライン 1日間	JPV290 マシン実習 JP1プロフェッショナル ネットワーク管理 セットコース オンライン 3日間	JPV286 マシン実習 JP1プロフェッショナル IT運用自動化 オンライン 2日間
または			
JPJ288 マシン実習 JP1プロフェッショナル ネットワーク管理1 – ネットワーク管理基盤 – 集合 2日間	JPJ289/JPJ289T マシン実習 JP1プロフェッショナル ネットワーク管理2 – システムリソース管理 – 集合 1日間	JPJ290/JPJ290T マシン実習 JP1プロフェッショナル ネットワーク管理 セットコース 集合 3日間	JPV287 マシン実習 JP1プロフェッショナル バックアップ管理 オンライン 1日間

JPV291 マシン実習 JP1プロフェッショナル 資産・配布管理1 – 資産管理編 – オンライン 1日間	JPV292 マシン実習 JP1プロフェッショナル 資産・配布管理2 – セキュリティ管理編 – オンライン 1日間	JPV293 マシン実習 JP1プロフェッショナル 資産・配布管理3 – 配布管理編 – オンライン 1日間	JPV294 マシン実習 JP1プロフェッショナル 資産・配布管理 セットコース オンライン 3日間
または			
JPJ291 マシン実習 JP1プロフェッショナル 資産・配布管理1 – 資産管理編 – 集合 1日間	JPJ292 マシン実習 JP1プロフェッショナル 資産・配布管理2 – セキュリティ管理編 – 集合 1日間	JPJ293/JPJ293T マシン実習 JP1プロフェッショナル 資産・配布管理3 – 配布管理編 – 集合 1日間	JPJ294/JPJ294T マシン実習 JP1プロフェッショナル 資産・配布管理 セットコース 集合 3日間

JPV295 マシン実習 JP1プロフェッショナル セキュリティ管理 オンライン 1日間

JPV298 レクチャ JP1コンサルタント ジョブ管理–システム設計編– オンライン 1日間
--

JPV299 レクチャ JP1コンサルタント ジョブ管理–チューニング編– オンライン 1日間
--

JPV300 レクチャ JP1コンサルタント 資産・配布管理 オンライン 1日間

JPV296 レクチャ JP1コンサルタント 統合管理 オンライン 1日間
--

JPV297 レクチャ JP1コンサルタント パフォーマンス管理 オンライン 1日間

JPV301 レクチャ JP1コンサルタント ネットワーク管理 オンライン 1日間
--

音声有り・説明文有り : 説明画面と説明文（音声あり）で学習するタイプのeラーニングです。（説明文を音声で聞くことも可能です）
音声有り・説明文なし : 収録した講義画面と講師の音声で、集合研修に参加しているような臨場感ある受講ができるタイプのeラーニングです。（音声再生環境が必須です）
音声なし・説明文有り : 説明画面と説明文（音声なし）で学習するタイプのeラーニングです。（音声再生環境は不要です）

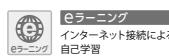
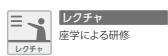
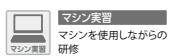
初心者にオススメ : コンピュータ未経験の方が前提知識なく学習できる当該分野の最初のコースです。

資格 ITIL®認定資格

ITIL® [Information Technology Infrastructure Library]は、英国政府が作成したITサービススマネジメントのベストプラクティスがまとめられた書籍です。ITIL®は、システム運用管理を中心とした幅広い分野で広く利用され、現在、ITサービススマネジメントの世界的な業界標準として普及しています。ITIL®認定資格は、ITIL®をベースとしたITサービススマネジメントに関するスキルを証明する資格です。

詳しくは、日立アカデミーのWebサイトにてご確認ください。

<https://www.hitachi-ac.co.jp/service/opcourse/license/itil.html>



<p>ITE701 ITサービススマネジメント</p> <p> eラーニング 6時間</p> <p><eラーニング>【ナビ機能付き】運用管理概説</p> <p>システム運用管理の必要性や、管理項目を学習します。また、各担当の役割や各運用管理の作業内容を、演習を通して理解を深めます。</p> <p>到達目標 • ITサービスとITシステムの運用管理の必要性の関係を理解し、説明できる。 • 運用管理の体制と各担当の作業概要を説明できる。 • システム運用の管理項目の種類や作業概要を説明できる。</p> <p>対象者 • これから運用業務に携わる方。 • システムサービスの企画・設計に携わる方で、運用管理の知識が必要な方。</p> <p>前提知識 ITの基本用語について知識があること。</p> <p>内 容</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. ITサービススマネジメント概要 <ol style="list-style-type: none"> (1)サービスとは (2)ITサービスとITシステム 2. 運用管理概要 <ol style="list-style-type: none"> (1)運用管理の目的 (2)有用性、保証 3. 運用管理の活動 <ol style="list-style-type: none"> (1)安定したサービスを提供するための活動 (2)サービスを安全に変更するための活動 (3)より良いサービスを提供するための活動 4. 修了試験 <p>備考 • 開始日にかかわらず学習終了日は9月30日になります。 • 説明画面と説明文（音声なし）で学習するタイプのeラーニングです。（音声再生環境は不要です） • このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。 • お申し込みの前に必ず学習利用環境をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。</p>	<p>ITE008 ITサービススマネジメント</p> <p> グループ演習 1日間</p> <p>情報システム運用入門 一運用からITサービスへ【バーチャル・クラスルーム】</p> <p>システム運用の必要性、作業項目、体制について、基本的な考え方を講義と演習を通して学習します。演習を通して、システム運用を行ううえで必要な活動への理解を深めます。</p> <p>到達目標 • システム運用の管理項目の種類や役割を説明できる。 • ITサービスとITシステムの運用管理の必要性の関係を理解し、説明できる。</p> <p>対象者 • これから情報システムの運用業務に携わる方。 • システムサービスの企画・設計に携わる方で運用管理の知識が必要な方。</p> <p>前提知識 ITの基本用語について知識があること。</p> <p>内 容</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. ITサービススマネジメント概説 <ol style="list-style-type: none"> (1)サービスとITサービス <ul style="list-style-type: none"> ・サービスとは ・ITサービスとは ・サービスの有用性と保証 (2)ITサービスの管理 <ul style="list-style-type: none"> ・ITサービスのライフサイクル 2. 運用管理概説 <ol style="list-style-type: none"> (1)運用管理の目的 (2)運用管理の対象 (3)運用管理の体制 3. 運用管理の活動 <ol style="list-style-type: none"> (1)安定したITサービスを提供するための活動 <ul style="list-style-type: none"> ・日常の活動 ・障害発生時の対応 ・障害対策 ・災害対策 (2)ITサービスを安全に変更するための活動 <ul style="list-style-type: none"> ・変更管理、リリース・展開管理 ・資産・構成管理 (3)より良いITサービスを提供するための活動 <ul style="list-style-type: none"> ・運用改善サイクル、ナレッジ管理 <p>備考 • このコースは、グループ演習を中心とした構成のため、研修効果の観点から最少開催人数を設けさせていただいております。ご了承のほどよろしくお願いいたします。 • このコースは、「【ナビ機能付き】運用管理概説」eラーニングコース(ITE701)と同等の内容です。eラーニングをご受講済の方は、申し込み漏れのないように注意ください。</p>	<p>IT014 ITサービススマネジメント</p> <p> レクチャ 3日間</p> <p>ITIL®ファンデーション (ITIL®2011対応) (受験パウチャーチケット付き) 【バーチャル・クラスルーム】 PDU</p> <p>ITIL®は、ITサービススマネジメントのベストプラクティスです。このコースでは、ITIL®で紹介されたライフサイクルモデルを学習します。当社はPeopleCertの認定教育事業者(ATO)であるITプレナーズ社の認定アフィリエイトです。このコースは、PMP®資格更新に必要なポイント(PDU: 18ポイント)の修得が可能です。※本コースは、ITIL®V3(2011edition)に対応しています。</p> <p>到達目標 • ITサービススマネジメントの中核となる分野と概念を説明できる。 • 組織におけるITIL®実装の有益性を説明できる。</p> <p>対象者 ITIL®ファンデーション資格の取得をめざす方。</p> <p>前提知識 特に必要としません。</p> <p>内 容</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. プラクティスとしてのサービススマネジメント <ol style="list-style-type: none"> 2. サービスライフサイクル 3. サービスストラテジ 4. サービスデザイン 5. サービストランジション 6. サービスオペレーション 7. 繼続的サービス改善 8. 技術とアーキテクチャ 9. 試験対策 <p>備考 • このコースは、認定試験「ITIL®Foundation」が含まれています。受験当日、本人を確認できる顔写真付き証明書(免許証、従業員証、パスポートなど)を忘れずにご持参ください。ご持参いただかない場合は、受験が無効になりますので、ご注意ください。 • このコースをご受講の場合、受講者の個人情報を試験機関に提供いたします。 • PMI®、PMP®、PMBOK®ガイド、はプロジェクトマネジメント協会(Project Management Institute, Inc.)の登録商標です。 • 当社はPeopleCert®の認定教育事業者(ATO)であるITプレナーズ社の認定アフィリエイトです。</p>
<p>ITV013 ITサービススマネジメント</p> <p> レクチャ 3日間</p> <p>ITIL®4ファンデーション (受験パウチャーチケット付き) 【バーチャル・クラスルーム】 PDU</p> <p>ITIL®4は、ITサービススマネジメントのベストプラクティスです。本コースでは、用語や概念からITIL®4のコアコンセプトを学習します。このコースは、PMP®資格更新に必要なポイント(PDU: 18ポイント)の修得が可能です。</p> <p>到達目標 • ITサービススマネジメントの主要なコンセプトを説明できる。 • 組織が、従うべき原則の支援を受けながらどのようにITILサービススマネジメントを適用し、適応できるかを説明できる。 • ITILサービススマネジメントの4つの側面を説明できる。 • ITILサービススマネジメントの目的と構成要素、サービスバリューチェーンの活動、ならびにそれらの関連性を説明できる。 • 繼続的改善の主要なコンセプトを説明できる。 • ITILプラクティスについて学び、それらがバリューチェーンの活動にどう貢献するかを説明できる。</p> <p>対象者 • サービスマネジメント分野において第一歩を踏み出したいと考えている。ITおよび事業部門双方の方。また、旧来のITIL®や類似したベストプラクティスについて知識を有しており、ITIL®4について学びたいと考えている方。ITIL®ファンデーション資格の取得をめざす方。</p> <p>前提知識 特に必要としません。</p> <p>内 容</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. サービスマネジメント・主要なコンセプト 2. 従うべき原則 3. サービスマネジメントの4つの側面 4. サービス・バリューシステム 5. 繼続的改善 6. ITIL®プラクティスの概要 7. 試験対策 <p>備考 • このコースは、認定試験「ITIL® Foundation」が含まれています。受験当日、本人を確認できる顔写真付き証明書(免許証、従業員証、パスポートなど)を忘れずにご持参ください。ご持参いただかない場合は、受験が無効になりますので、ご注意ください。 • このコースをご受講の場合、受講者の個人情報を試験機関に提供いたします。 • PMI®、PMP®、PMBOK®ガイド、はプロジェクトマネジメント協会(Project Management Institute, Inc.)の登録商標です。 • 当社はPeopleCert®の認定教育事業者(ATO)であるITプレナーズ社の認定アフィリエイトです。</p>	<p>ITE006 ITサービススマネジメント</p> <p> グループ演習 4時間</p> <p><eラーニング> SLAにおけるサービスレベル設計の基礎</p> <p>ITサービスの設計要素として、キャパシティ、可用性、継続性の項目を学習します。サービスレベルに基づくサービス設計の基礎を身につけています。</p> <p>到達目標 • ITサービスのキャパシティ、可用性、継続性を説明できる。 • キャパシティ、可用性、継続性の基本的な設計ができる。</p> <p>対象者 ITサービスの設計を行方。</p> <p>前提知識 ITIL®の概要、用語の知識があること。</p> <p>内 容</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. ITサービスの設計の概要 2. 可用性管理の設計 3. キャパシティ管理の設計 4. 継続性管理の設計 5. 情報セキュリティの設計 6. 修了試験 <p>備考 • 開始日にかかわらず学習終了日は9月30日になります。 • 説明画面と説明文（音声なし）で学習するタイプのeラーニングです。（音声再生環境は不要です） • このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。 • お申し込みの前に必ず学習利用環境をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。</p>	<p>ITV009 ITサービススマネジメント</p> <p> レクチャ 1日間</p> <p>IT運用におけるヒューマンエラー予防 【バーチャル・クラスルーム】</p> <p>IT運用現場で起こり得るヒューマンエラーについて、講義と演習を通して学習します。トラブル・事故事例から、ヒューマンエラーの影響と発生のメカニズムを理解します。演習では、自職場での効果的なヒューマンエラー防止策を立案します。</p> <p>到達目標 • IT運用の現場で起こるヒューマンエラーについて理解できる。 • ヒューマンエラーが起こるメカニズムを理解し、未然に防ぐ方法を理解できる。 • 効果的なヒューマンエラー防止策を実施できる。 • チームのヒューマンエラーを無くすための指導やプロセス改善を考えることができる。</p> <p>対象者 IT運用に携わっている方、IT運用の部署のチームリーダまたはリーダになる方。</p> <p>前提知識 IT運用の基礎知識があること。IT運用の実務経験があることが望ましい。</p> <p>内 容</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. IT運用の事故・トラブル 2. ヒューマンエラーとは 3. ヒューマンエラーの防止策 <p>備考 このコースは、グループ演習を中心とした構成のため、研修効果の観点から最少開催人数を設けさせていただいております。ご了承のほどよろしくお願いいたします。</p>

ITV004 ITサービススマネジメント

 グループ演習
2日間

システム運用の現状分析・設計力養成ワークショップ【パーソナル・クラスルーム】

システム運用管理において、現状の課題分析を行い、運用管理ツール(JP1)の導入による運用改善の策定を通して、システム運用設計のスキルを修得します。

到達目標 • システム運用の課題を認識し、解決策を考えることができる。
• ITサービスの改善プロセスを理解し実行できる。

対象者 運用業務に携わる方、運用を考慮したシステム企画・設計を行う方。

前提知識 「[ナビ機能付き]運用管理概説」eラーニングコースを修了しているか、または運用管理の知識があること。

- 内容**
1. オリエンテーション
 - (1) サービス改善のアプローチ
 2. 現状の運用理解と運用課題の洗い出し
 - (1) システムにより提供されるサービスの目的を確認
 - (2) 現状の運用を確認
 3. 運用管理の改善
 - (1) サービスで提供すべきゴール(KPI)を設定
 4. 改善後の運用設計
 - (1) ゴールを達成するための運用の設計
 - (2) ゴール達成度の評価方法の設計(測定項目と測定基準)

備考 • このコースは、運用ツールとしてJP1製品を活用し、運用業務の設計を行います。
• このコースは、グループ演習を中心とした構成のため、研修効果の観点から最少開催人数を設けさせていただいております。ご了承のほどよろしくお願いいたします。



マシン実習

マシンを使用しながらの研修



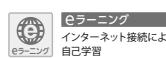
グループ演習

グループ演習を中心とした研修



レクチャ

座学による研修



eラーニング

インターネット接続による自己学習



その他



休講

今期の定期開催はありません



各種研修サービスに関するお問い合わせ

地 区	T E L	F A X
東 京	03-5471-8962	03-5471-2564
大 阪	06-4797-7360	06-4797-7361
名 古 屋	052-269-8940	052-261-8276
広 島	082-546-6172	082-546-6173
福 岡	092-844-7522	092-844-7580

日立講習会お問い合わせ窓口 ▶ <https://www.hitachi-ac.co.jp/inquiry/index.html>